

050 十二使徒の選抜 イスカリオテのユダ

ルカによる福音書 6 : 12~16、マタイによる福音書 10 : 1~4、マルコによる福音書 3 : 13~19

12 そのころ、イエスは祈るために山 (NIV:a mountainside、NKJV:the mountain)に行き、神に祈って夜を明かされた。

13 朝になると弟子たちを呼び集め、その中から十二人を選んで使徒と名付けられた。

14 それは、イエスがペトロと名付けられた**①シモン**、その兄弟**②アンデレ**、

そして、**③ヤコブ** (=大ヤコブ、ゼベダイの子、ヨハネの兄)、**④ヨハネ** (=大ヤコブの弟、最年少)、

⑤フィリポ、**⑥バルトロマイ** (=ナタナエル)、

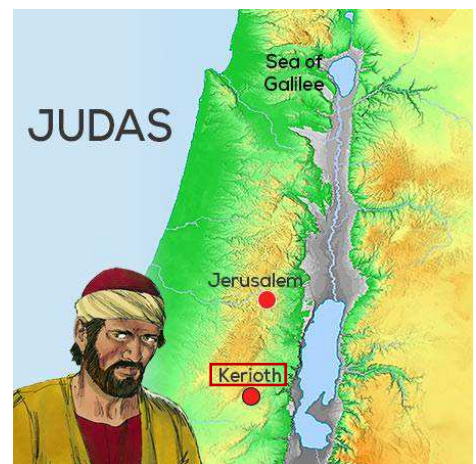
15⑦マタイ (=レビ、徴税人)、**⑧トマス**、アルファイの子**⑨ヤコブ** (=小ヤコブ、義人ヤコブ)、熱心党 (→ギリシア語「ゼーローテス」(熱心な者)、ローマに対抗して戦ったユダヤ人グループのメンバーに付けられた名称) と呼ばれた**⑩シモン**、

16ヤコブの子**⑪ユダ** (=タダイ)、それに後に裏切り者となった**イスカリオテ** (→ユダヤの地域「ケリオテ」の出身) の**⑫ユダ**である。

【参考】 イスカリオテのユダ

⑫ イスカリオテのユダ Judas Iscariot イスカリオテ出身

イエスはイスカリオテ (→ケリオテ出身の男の意味、もしくはうそつきの男、裏切り者の意味) のユダを愛し、信頼してお金を任せた (財務担当)。しかしユダは、食欲に走って歴史上の裏切り者となった。イエスは、彼の裏切り行為を知って、「わたしと一緒に手で鉢に食べ物を浸した者が、わたしを裏切る。人の子は、聖書に書いてあるとおりに、去って行く。だが、人の子を裏切るその者は不幸だ。生まれなかった方が、その者のためによかった。」(マタイによる福音書 26 : 23、24) ときびしく戒めている。最後にイエスはゲツセマネで、「友よ、しようとしていることをするがよい」(マタイによる福音書 26 : 50) とユダに告げた。イエスは彼を友と語りかけて赦している。イエスを銀貨 30 枚で売り渡したユダは、イエスに死刑判決が下ったことを知って後悔した。「わたしは罪のない人の血を売り渡し、罪を犯しました」(マタイによる福音書 27 : 4) と言って大祭司カイアファに銀貨を返そうとしたが、ユダヤ教の祭司たちは拒絶した。ユダは銀貨を神殿に投げ込んで立ち去り、自殺した。



Copyright © 1998-2020 UB David & I'll B Jonathan, Inc.